

特別展

光秀と幽斎

花開く武将文化



明智光秀像(部分) 岸和田市本徳寺蔵
※実物展示は11月2～9日(他は複製展示)

令和元年

10月26日(土)

12月15日(日)



重要文化財・細川幽斎像(部分) 京都市天授庵蔵
※展示期間は10月26日～11月17日

【連携展示】

9/28～11/17 京都府立丹後郷土資料館 企画展
「光秀と幽斎～丹波・丹後の攻防と支配～」

【関連展示】

10/19～12/1 大山崎町歴史資料館 企画展
「国衆からみた光秀・藤孝～丹波・乙訓と織田権力～」

ふるさとミュージアム山城

(京都府立山城郷土資料館 Kyoto Prefectural Yamashiro Regional Museum)

〒619-0204 京都府木津川市山城町上狛千両岩
Tel. 0774-86-5199 Fax. 0774-86-5589
HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/yamasiro-m/cms/>
E-mail yamasiro-s-soumu@pref.kyoto.lg.jp

〈文化財講演会〉

11月2日(土) 午後1時30分から

「光秀・幽斎と和歌・連歌」

講師 帝塚山学院大学名誉教授
鶴崎 裕雄 氏

〈文化財連続講座〉

11月30日(土) 午後1時30分から

「光秀・幽斎と京都」

講師 大山崎町歴史資料館長
福島 克彦 氏

〈列品解説〉

11月9日(土)、12月8日(日)

午前11時から

休館日 月曜日(但し、11月4日は開館し、11月5日は休館)

開館時間 午前9時から午後4時30分

入館料 個人 一般 250円 小中学生 70円

団体 一般 200円 小中学生 50円

○次の場合は入館無料

- ・65歳以上の方
- ・障害者手帳をお持ちの方とその介護者
- ・小中学校の学校教育活動の場合

○きょうと子育て応援パスポートが利用できます。



重文・細川幽齋夫人像 天授庵蔵
※展示期間は10/26～11/17



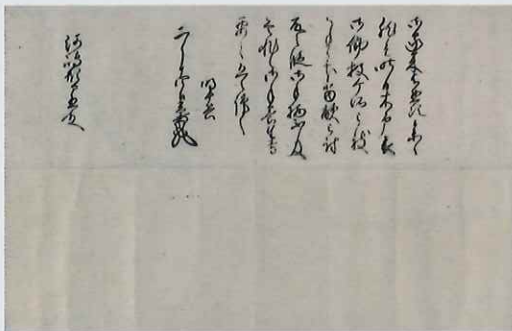
重文・細川蓮丸像 聴松院蔵
※展示期間は11/19～12/15



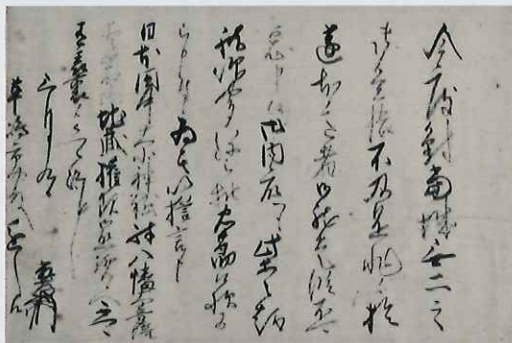
府指定・松井与八郎像 宝泉寺蔵
※展示期間は11/19～12/15



織田信長像 大雲院蔵
※展示期間は11/19～12/15



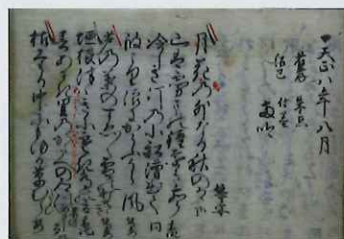
明智光秀書状 (重文・革嶋家文書*) 京都府蔵



細川藤孝起請文 (重文・革嶋家文書*) 京都府蔵
*京都府立京都学・歴史館「京の記憶アーカイブ」から
※展示期間は11/19～12/15



重文・大原野千句連歌懐紙 勝持寺蔵
※期間中、展示する帖の入替を行います



高好連歌より藤孝・紹巴評点両吟百韻 (新出資料) 個人蔵 ※展示替えあり

来年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公明智光秀と、その盟友細川幽齋（藤孝）は武将の中でも特に教養の高い文化人でした。光秀が本能寺の変直前に愛宕山で百韻連歌を催したことや、幽齋が古今伝授の正統を伝えていたため関ヶ原の合戦の際に田辺城の包囲が解かれたことは、つとに知られています。武力による天下統一が進められる時代にあって、細川幽齋・忠興父子は、和歌・連歌・能楽・茶の湯など室町時代までに成立した日本文化を江戸時代につなぐ役割も果たしていきます。

今回の展示では、光秀・幽齋等ゆかりの人物の肖像画や古文書、彼らの文化活動の足跡を示す資料を新出のものも含めて紹介し、天下統一の時代に花開いた武将文化のあり方を探ります。

■主な展示内容 (期間中、展示替えを行います)

- ・肖像画にみる光秀・幽齋とゆかりの人物
- ・幽齋の家老松井康之と文化活動
- ・幽齋と和歌、古今伝授の世界
- ・光秀・幽齋と連歌のまじわり
- ・丹後細川能番組と能「真名井原」



交通のご案内

- JR奈良線「上狛駅」下車、徒歩20分
- 関西本線・学研都市線「木津駅」下車タクシー5分
- 国道24号線/国道163号線「上狛四丁町交差点を東へ1.5km